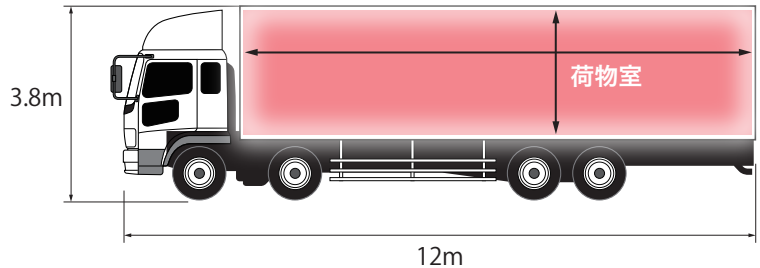


# ご存じですか、扁平タイヤリトレッド

なぜ最近の大型トラックには扁平タイヤが装着されているのでしょうか？

## ■国内の大型トラックの規格

車両の長さ	12m 以内
車両の幅	2.5m 以内
車両の高さ	3.8m 以内
車両の1軸最大負荷重量	10トン



## ■この制約の中で

荷物室を大きくするためには

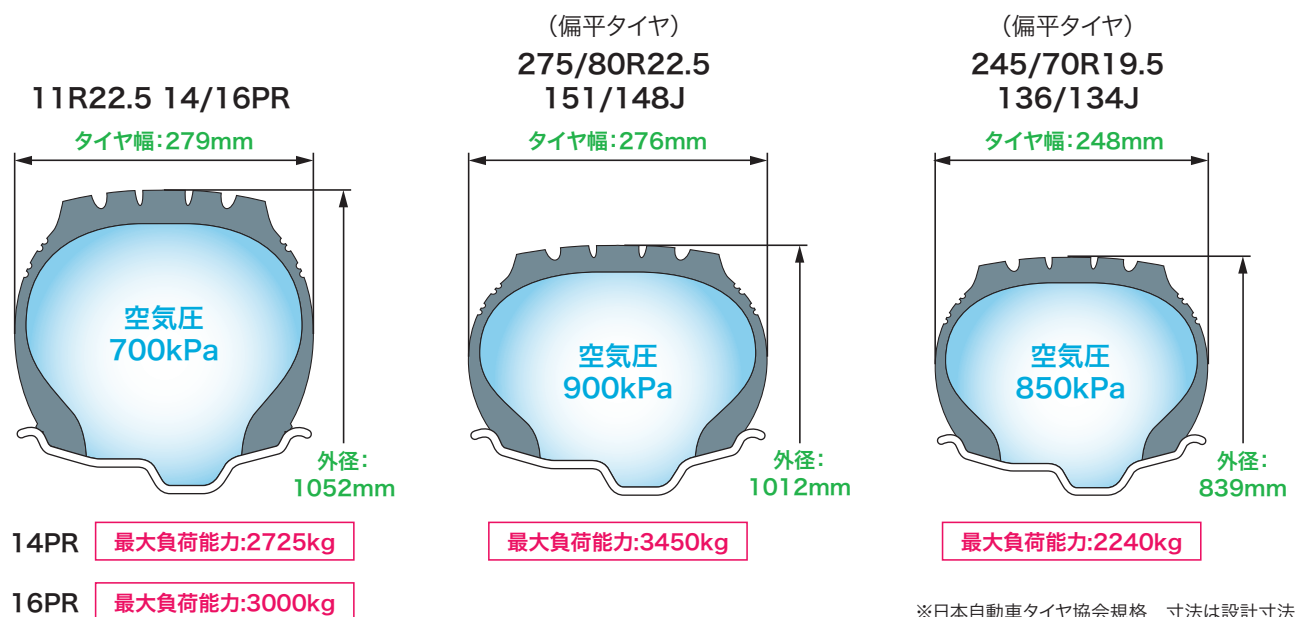
- ①キャビン(運転席)を短くする
- ②外径が小さなタイヤにして、荷物室の高さを  
拡げ、容積を大きくする

積載重量を増やすためには

- ①タイヤの負荷能力が高いタイヤを装着する
- ②1軸最大負荷重量規制(10トン)があるため、  
軸を増やす

容積を大きくする+積載重量を増やす手段として「外径の小さなタイヤ」で「負荷能力が高い」扁平タイヤが採用されました。

## 寸度・空気圧を比較すると



※日本自動車タイヤ協会規格 寸法は設計寸法

## 偏平タイヤは「空気圧管理」が大切

偏平タイヤは、外径が小さく、タイヤ内部の容積が小さいので、荷重を支えるために、一般サイズのタイヤに比べ**設定空気圧が高く**設定されているので、今まで以上に**空気圧管理が大切**になります。

### ■もし空気圧が基準値より低いと

#### ●タイヤの耐久性が低下

- ・トレッド部、ビード部のセパレーション
- ・ショルダー部、ビード部周辺のしわ

セパレーション



しわ



#### ●異常摩耗が発生しやすい

- ・ヒールアンドトゥ摩耗(段べり)
- ・肩落ち摩耗

ヒールアンドトゥ



肩落



## 偏平タイヤはリトレッドできるの？

偏平タイヤは「**外径が小さく**」「**負荷能力が高い**」タイヤです。

新品タイヤは、どんどん偏平タイヤが増えていきます。

偏平タイヤは空気圧を高くして使用するためタイヤのカーカス(骨格)やベルト(補強)が頑丈な構造になっていて、きちんと空気圧管理されたタイヤは、摩耗してそのまま廃棄するのは「**もったいない**」と考えます。

### ■リトレッドするための厳しい検査体制

販売店 タイヤ	傷の有無と溝の残り具合
リトレッドタイヤ製造会社	台タイヤの受入検査
	目視・触手検査
	釘穴・貫通検査
	製品検査
	目視・触手検査
	耐圧検査

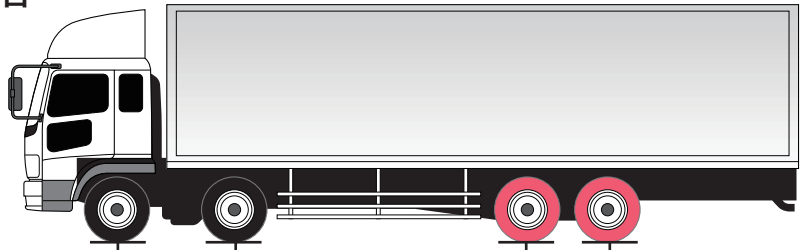
厳しい検査をクリアしたタイヤだけが  
リトレッドタイヤとして  
お客さまへと届けられます。



# リレッドタイヤのメリット

## 4軸低床車(245/70R195)の場合

※リレッドタイヤは3軸目または4軸目に装着  
ローテーションで摩耗速度を調整します。



例)

総重量の軸別重量配分	4~4.5トン	4~4.5トン	8トン	8トン
軸別摩耗指数	120	70	100	85

## ■メリット1 〈イニシャルコスト低減〉

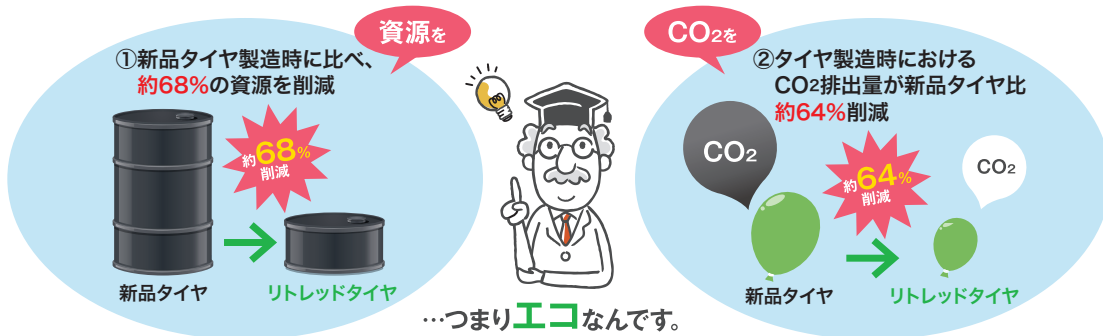
※詳細は販売店・販売会社へお問い合わせください。

イニシャルコスト → 新品を100とすると約70%  
(摩耗ライフ → 新品を100とすると約80~85%)

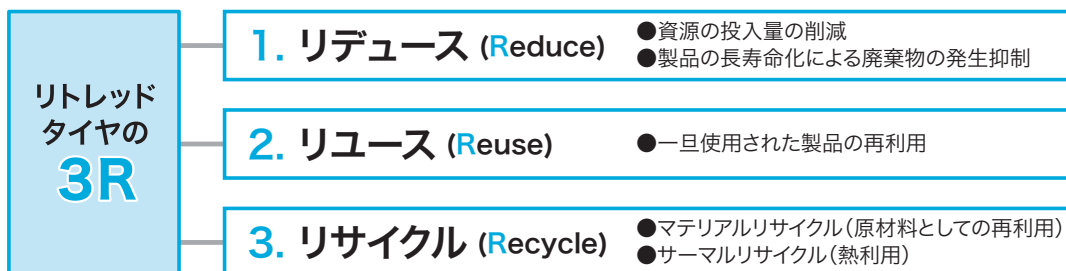
## ■メリット2 〈環境経営をバックアップ〉

### ●リレッドタイヤなら資源使用量を1/3に削減!

トラック・バス用タイヤでは、製造時の資源量を約68%削減できます。(資源とは主に合成ゴム、天然ゴム)



### ●資源リサイクルで環境にやさしいタイヤ



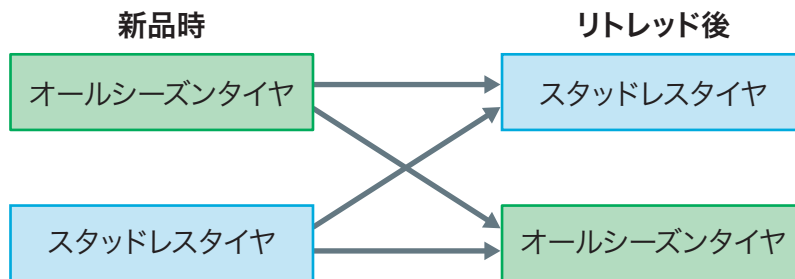
# リトレッドタイヤのメリット

## ■メリット3 〈新品タイヤ購入本数削減+廃タイヤ処理本数削減〉

	新品のみ		新品+リトレッド(リトレッド4本装着の場合)		
	新品購入本数	廃棄本数	新品購入本数	リトレッド購入本数	廃棄本数
1年目(現状)	12	12	12	0	4
2年目	12	12	8	4	8
3年目	12	12	8	4	8
4年目	12	12	8	4	8
計	48	48	36	12	28

4軸低床車(245/70R195装着)1台分の場合

## ■メリット4 〈リトレッドする時に新品タイヤと異なるパターンにできる〉



※詳細は販売店・販売会社またはリトレッド製造会社へお問い合わせください。